

# 雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和3年 11月 1日発行

地域学校協働活動

## 町内小学校 稲刈り体験学習

### 10月5日（火）七ツ森小学校

七ツ森小学校では、5年生を中心として全校児童が米作りに関わっています。学校の近くの、細川喜榮さんの田をお借りして田植え、稲刈り、脱穀を行っています。この日は、4名の地域



の方も一緒に稲刈りを行いました。4～6年生が稲を刈って麻ひもで束ねるまでを行い、1～3、5年生が束ねられた稲を馳せがけまで運びます。収穫されたもち米はPTAボランティアの皆さんや、お世話になった地域の方に届ける予定です。



今は田んぼをやっている家庭も少なくなり、機械での作業になってきている。子どもたちには鎌を使って刈って、馳せがけさせて手作業で体験させてやりたい。（細川 喜榮さん）

### 9月29日（水）西山小学校

5月、5年生28名が学校の近くの中川昭弘さんの田で田植えを行いました。今回の稲刈りでは中川さんの他、5年生のPTAや環境整備部の方9名と一緒に作業を行いま



した。児童は二人一組で稲を刈る人、束ねる人に分かれて作業を行いました。参加した方から「こういう機会がないと手作業で稲刈りすることはないから貴重な体験だよ」と児童は教



わりました。収穫したもち米は11月17日（水）の収穫祭で5年生と、お手伝いくださる方で餅つきしていただきます。

### 10月12日（火）御明神小学校

5年生16名がお借りしている中屋敷紀昭さんの田で「銀河のしずく」の稲刈り体験を行いました。中屋敷さんはご自分のお子さんが小学生だったころから、35年に渡って田んぼを貸してくださっています。刈った稲は脱穀されたあと、玄米で学校に寄付され、学校給食でいただきます。



今はスーパーに行けば精米されたお米が売っている。米がどうやって出来るのかを知って欲しい。自分で植えて稲刈りして体験することで大切さを知ってもらいたい。（中屋敷 紀昭さん）



### 10月12日（火）雫石小学校

5年生48名が、晴山保正さんの田で、「銀河のしずく」の稲刈りを行いました。「銀河のしずく」は登録した人しか作ることでできないブランド米です。

児童は鎌で刈った米を、田の畔（あぜ）に端をそろえて置き、刈り終わった後コンバイン（稲刈機）で脱穀しました。指を挟むと危ないので、稲を機械に入れる作業は晴山さんが行いました。コンバインから脱穀された稲が出てくるのを、児童は覗き込んで見ていました。「銀河のしずく」の新米は、11月中旬ごろに、雫石町内の全小中学校の給食で提供されます。



## ～雫石には自慢できるものがたくさんあったよ！！～

9月7日（火）と9月24日（金）、御明神小学校3年10名が地域巡りを行いました。1回目は「御明神の自慢できるものを訪ねて」というテーマで、滴石史談会の高橋司先生を講師に招き、上和野馬頭観音堂や道の駅「しずくいしあねっこ」の見学、橋場の御番所跡地の近くで貝の化石採り体験などを行いました。



貝の化石があるってことは雫石は大昔、海だったってこと！？  
あっ、貝の化石発見！！



上和野馬頭観音堂は、東日本大震災の被害の報告をしたことがきっかけで国指定登録有形文化財に指定されたんですよ。

（岩持 斗季子さん）

昔は男子が15歳になると、成人とみなされ、早朝ここから岩手山に登り、朝日を拝んで昼ころ戻るならわしがありました。（笹田 武彦さん）



2回目は「岩手山のめぐみをたずねて」というテーマで、玄武洞や岩手山神社、小岩井農場の牛舎や四階倉庫、旧本部事務所を訪れました。滴石史談会の佐藤賢治先生が講師として説明してくださいました。牛舎では、1頭の牛から一日に30～50リットルの牛乳を搾ることが出来、菌が繁殖しないように4℃に保ち、空気に触れないようにして工場まで運ばれていることを学びました。



ここは重要文化財に指定されている旧本部事務所です。当時としてはとてもおしゃれな装飾が施されています。ハート形になっているのが分かる？（野澤 裕美さん）

### 雫石小学校4年総合学習

## 地域の「お宝」見～つけた！！

雫石小学校4年生43名が、10月4日（月）と7日（木）の二日間に分け「自分たちがしょうかいする『雫石ガイドマップをつくろう』」という学習を行いました。これは雫石



地図は「広養寺」看板は「廣養寺」同じお寺なのかな・・・？

小学校のまちあるきを、町地域づくり推進課を中心とする行政が学校を支援する活動で、今年で3年目の実施となります。児童は10グループに分かれ、よしゃれ通り商店街や、田園地帯を歩いて「お宝」を探し、マップにまとめることで、地域の新たな魅力を知ることを目的としています。それぞれのグループに地区公民館の集落支援員や役場職員が同行し、安全で円滑な学習が実施できるように見守り・支援を行いました。この取り組みが、地域住民と学校が協働で行う活動となるよう、呼びかけながら仕組みを作っていくことがこれからの課題です。

--- 支援から協働へ ---

「お宝」とは・・・

誇れるもの、珍しいもの、懐かしいもの、きれいなものなどです。目に見えないお祭りや芸能言い伝えなども「お宝」です。



これは昔の井戸だよ。飲料としては飲めないけれど、今でも野菜の泥を落としたりするのに使っているよ。

これはリンドウの花だよ。リンドウは八幡平市が有名だけど、東北で最初に作ったのは雫石なんだよ！

